



議会 だより

千早赤阪

一般質問

藤浦 稔

通学路の交通安全対策は
村の防犯対策(防犯カメラ)について

田村 陽

タブレットの配布について村長の考えは
クビアカツヤカミキリに対策を

千福 清英

村政運営方針をうけて
学童保育について

井上 浩一

通学路の管理状況は
災害に強い森林づくりと森林環境譲与税の活用

関口 ほづみ

誰もが利用できるワゴンカーの運行を
子ども医療費助成を18歳までに拡充を

山形 研介

小吹台地区の活性化について
金剛山ロープウェイ・香楠荘廃止による
今後の課題について

vol. **136**
May 2021
2月定例会

2月定例会 議決結果

○全会一致で承認・可決された案件

• 専決処分（令和2年度千早赤阪村一般会計補正予算（第11号））の承認を求めることについて
• 千早赤阪村営香楠荘設置及び管理に関する条例廃止について
• 千早赤阪村金剛山ロープウェイ条例廃止について
• 千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について
• 千早赤阪村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正について
• 千早赤阪村国民健康保険条例の改正について（大阪府国民健康保険運営方針の改正に準じた改正）
• 千早赤阪村介護保険条例の改正について
• 令和2年度千早赤阪村一般会計補正予算（第12号）
• 令和2年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
• 令和2年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第2号）
• 令和2年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
• 令和2年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第3号）
• 令和2年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計補正予算（第2号）
• 債権の放棄について
• 令和3年度千早赤阪村一般会計予算
• 令和3年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算
• 令和3年度千早赤阪村介護保険特別会計予算
• 令和3年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算
• 令和3年度千早赤阪村下水道事業特別会計予算
• 令和3年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計予算
• 千早赤阪村議会会議規則の改正について
• 千早赤阪村国民健康保険条例の改正について（新型コロナウイルス感染症の定義についての文言改正）
• 令和2年度千早赤阪村一般会計補正予算（第13号）

○同意案件

• 固定資産評価審査委員会委員の選任について

議長コラム



村議会議長
田中博治

日頃は、村議会に対し、ご理解とご協力を頂き、本当にありがとうございます。ごさいます。

村民の皆様にはコロナ、コロナと大変な年であったと思っております。

しかし、新聞報道によりますと村内感染状況は、6名のままで感染拡大はありません。これについては、村民の皆様のお一人お一人の予防のお陰だと感謝しております。

いよいよ新型コロナウイルス予防接種が始まります。接種会場として、すばるホールとPL錬成会館と発表されました。

今後は、ワクチンの供給量に応じて順次接種開始となります。

2011年3月11日に発生した東日本震災から10年が経ちました。政

府は、多額の資金を投じて被災地に住民と仕事を呼び戻そうとしています。福島の復興は、今なお道半ばです。

この度、岩手県大槌町の復興過程などを紹介するパネル展が富田林市「エコーロゼ」にて開催されました。

南本村長と吉村市長(富田林市長)は共に今後も南河内よりエールを送り続けて行く考えを示されました。

一昨年の台風にて小吹台にある「げんき保育園」の園庭の斜面が崩落しました。早速、村では国や大阪府に相談をして、援助をいただき、幾多の困難工事を乗り越えて、この3月に完了することになりました。

近所を通られたら一度覗いてみてください。

全員協議会 (抜粋)

令和3年3月9日

(案件)

1. 工事又は製造の請負契約報告書について

工事名・村立中学校及び赤阪小学校、空調設置工事

2. 監査結果報告の提出について

監査対象課

定期監査・健康福祉課、住民課

監査期間・令和2年7月・12月

監査結果

概ね適正に執行されていると認められたが、検討・改善を要する事項が見受けられた。

3. 南河内地域における消防広域化の経緯と取組状況について

平成31年「南河内消防広域化検討会」を設立。

令和3年具体的な検討を進めていくために検討会から協議会へ円滑に移行できるように準備を進める。消防指令センターの共同運用も念頭に置く。

4. 千早赤阪村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第8期)について

地域包括ケアシステムの深化・推進を目指して、令和3年度から3年間の第8期計画を策定する。

5. 新型コロナウイルス予防接種について

高齢者の接種の概要
対象者・令和3年度中に65歳に達する住民

実施体制・医師会、済生会富田林病院に委託
接種会場・すばるホール、PL錬成会館

今月の表紙



小吹 中岡 悠真 くん
(なかおか ゆうま)

3歳4カ月

父：真一 母：真由子

これからも元気でいてね
お友達たくさん出来るといいね!!

表紙写真 大募集!!

千早赤阪村議会だよりの表紙を飾っていただける
お子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真(複数人でもかまいません)

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話またはE-mailにてご連絡ください。

議会事務局 ☎ 0721-26-7168 E-mail iken@vill.chihayaakasaka.lg.jp



通学路の交通安全対策は



関係機関と連携し調査研究する



藤浦 稔 議員



げんきこども園前道路（危険カーブ）

問 「げんきこども園」前の府道は、緩やかなカーブでスピードも出しやすく、危険な状態である。

答 安全対策を大阪府に要望し、安全対策を実施する検討を行うと回答を

問 「水分北地区は急カーブであり、309号第二期完成で交通量が増え、危険きわまりない状況。歩行者が安心して通行できるスピード制限など、国・府に働きかけ早

答 村及び関係機関と連携し可能性について、調査研究する。

問 府に要望するだけでなく「減速」「キッズゾーン」などの表示を村で直接できないのか。

答 平成30年、速度抑制の路面標示設置、令和2年、川野辺交差点の側溝に蓋掛けし、歩行者の安全対策を実施した。また続いて国・府に要望していく。

望 「げんきこども園のキッズゾーン」の設置や「水分北地区のスピード制限」など早急に図ってほしい。

問 防犯カメラ整備の予算計上をしているが、設置場所などの基準は、また既存カメラの設置効果は。

答 村の防犯カメラは3年で6カ所設置した。犯罪は32%減少した。設置場所の選定は、警察の協力で決めている。

村の防犯対策（防犯カメラ）について

問 設置した防犯カメラの利用状況は、また具体的な今後の計画は

答 今後の設置は、中小学校の意見も参考に、警察と協議のうえ検討していく。また引き続き防犯パトロールを実施し、防犯対策を行う。

望 村内の防犯対策を強化し、更なる防犯カメラの設置と防犯パトロールの強化で犯罪のない村にしてほしい。



小学校通学路防犯カメラ設置要望場所



田村 陽 議員

問 タブレット配布について村長の考えは

答 タブレット配布にはこだわらない



タブレット

問 昨年12月の一般質問で、「タブレット等を各家庭に配布できるシステムを必ず作っていきたい」との旨の答弁があった。タブレットの配布は村長選での公約でもあったが、全世帯にタブレット等を配布せずとも、す

でに村民が所有しているパソコンやスマートフォンで利用できた方がいいのでは。

答 既存の通信機器を利用することが可能ならば、そういった方法も一つであると考えている。タブレット配布にこだわらず、様々な手法を模索していきたい。

問 村長は「IT化の推進をどのように考えているのか。

答 防災情報や行政情報、オンラインでの行政手続きなど住民の利便性の向上と事務の効率化にもつながるような仕組みづくりができないかと考えている。

要望 IT化の推進はあくまで手段であって目的ではない。IT化した結果、事務が煩雑になりか

えって効率が低下するようでは本末転倒となる。IT化の推進自体を金科玉条とするのではなく、あくまで課題解決のひとつの手段としてほしい。

クビアカツヤカミキリに対策を

問 クビアカツヤカミキリは、サクラ・モモ・ウメなどバラ科の樹木を枯らす原因となる昆虫であり、特定外来生物にも指定されている。

クビアカツヤカミキリの繁殖力は非常に強く、一匹のメスが数百個の卵を生むと言われている。また成虫は一年間に2〜3km移動するとされており、手をこまねいていては村内の被害は拡大するばかりだ。

昨年来クビアカツヤカミキリへの被害対策を訴えてきたが、村としてどのように対策していくのか。

答 村所有地の被害状況は、奉建塔などのサクラ・ウメ390本を調査し、19本の被害を確認している。

村としては、旧自然休養村管理センターや村道の被害樹9本と周辺樹木10本をすでに伐採処分を行っている。

令和3年度は、奉建塔のサクラの被害樹9本などの被害対策を講じる予定だ。

定だ。

問 民間所有地での被害に対しても支援すべきなのは。

答 特定外来生物への駆除に対する補助等を行っている。

要望 村有地における被害樹木への対応だけでは不十分だ。

今後の被害を少しでも減らすためにも一定の補助を検討してほしい。



クビアカツヤカミキリの被害を受けた樹木



村政運営方針をうけて



村民と行政の連携を進める



千福清英 議員

答 現在策定中の第5次総合計画においても、重要なキーワードの一つとして「村民と行政の連携・協働」を掲げ、これまで以上に取り組みを進めていく。

次に、地域デジタル化調査の進捗状況については、国では、自治体情報システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化などデジタル化社会の構築に向けた取り組みを全自治体において着実に進めて行こうとしている。本村もこのような動きに合わせて、住民基本台帳システムや税システム等の標準化に向け、業者と協議・調整を進めている。今後、国のデジタル化社会構築への動きなど合った地域のデジタル化について総合的に調査・研究を進めて行く。

問 村長は運営方針において将来を見据えた「魅力ある村づくり」を目指している。村では、従前より連携や協働の言葉が使われてきており、現在の状況はどうか。現時点でのコロナ禍のもと、厳しい方針となるが方向性の一端を伺う。併せて、地域のデジタル化に向けての調査等の進捗状況を伺う。私が実現を目指す「将来を見据えた魅力ある村づくり」には、持続可能な行政運営が重要であり、その実現に向けて連携・協働が重要である。

要望 今までも幾度となく「協働による村づくり」と言ってきたが、

村と住民との距離は、今一步と感している。その距離を縮めるためにも、対話等の機会を設けるなど工夫し、「村民との協働による村づくり」を一層前に進めていただきたい。一方、デジタル化に向けての対応は、国においての施策が早くなりそうなる感がある。

地域のデジタル化の構築については、村内が超高齢化に向かう中、問題点を探り、きめ細かい対応をお願いする。

学童保育について

問 学童保育は現在、小学校の空き教室を活用し、保護者によって運営実施していると聞いている。村としては、補助金を出し、指導や助言をしていると思うが、現状をどのように把握しているか伺う。また、その現状を踏まえ、今後どのような



学童保育室内

答 学童保育は、千早小吹台小学校の敷地内に設置し、保護者で組織する「千早赤阪村学童保育連絡会」においての運営となっている。現状については連絡会と課題などを共有し、村としての支援に努めている。運営経費については、令和元年度から補助金を倍増するなど、その支援の充実に努めている。本年度においては、コロナ禍における利用者の減少や、運営に携わる役員の負担が大きいが課題であることが把握している。

今後とも、連絡会との連携を図りながら、課題の解決に向けての支援に努めていきたい。

要望 生徒数の減少や、コロナ対策をしつつの運営については大変厳しさがある中、定期的な情報交換の場を設けるなど、担当課として運営方法等、一層の支援やアドバイスを見込む。



井上浩一議員

問 通学路の管理状況は

答 大阪府へ引き続き要望する

問 通称「楠公道路」と呼ばれる府道が自転車でも通学する学生の通学路になっていくが路側帯も狭く、それすらないような状況に非常に危険だ。

草刈り等もたまにされているようだが、不十分と感じる。管理状況と今後について伺う。

答 府道東阪三日市線は中学校の通学路で樹木も多く見通しが悪い、毎年府へ対応を要望している。府はパトロール等実



楠公道路

要望。府は効果的な時期に年一回除草を行い、パトロールで危険箇所に対応している。

学生には定期的に指導し危険箇所を共有している。

要望 事故が起こってからでは遅い、できる限りの努力を願う。

災害に強い森林づくりと森林環境譲与税の活用

問 林業の低迷により森林が荒れ災害や環境問題になっている。

答 森林環境税の創設で森林環境譲与税の譲与が始まった、村での状況と取り組みを伺う。

問 令和2年度より、条件不利森林の間伐を開始、未整備森林は状況を把握している地域の事業を主体に整備を進めることが重要。取り組みとして、出産祝い事業で河内材の積み木の贈呈、林道修繕の原材料費補助

答 村は樹木が多く、単発でなく継続的な作業を

を継続実施。事業のPRに努めている。

問 国の森林環境譲与税を活用した整備は始まったが、来年度以降の予定と村道周辺・重要インフラ周辺の森林整備についてはどうか。

答 整備を一体的、継続的に進める必要がある。事業の対象範囲を広げ譲与税を充当する、村道等の周辺森林も要件はあるが事業の対象になりうる。

問 林道についても災害時等に活用出来る、維持整備は重要。府の森林環境税でも災害対策を進められている、実績と計画を伺う。

答 林道は3カ所



砂防ダム

実施、計画に基づき継続する。府の環境税は平成28年度から活用され、村では令和元年度までの4年で治山ダム18基、調整伐18カ所の事業を実施。令和5年度まで、治山ダム7基、調整伐6カ所を計画。
要望 譲与税は都市部に多く配分され、見直しも課題だが都市部で河内材の活用を促すのも重要。引き続き積極的に活用を願う。

問

誰もが利用できるワゴンカーの運行を

答

現行制度を利用していただきたい



関口ほづみ 議員

問 高齢者・障がい者へのタクシー・バス運賃助成が実施され、大変喜ばれている。高齢化社会のなか全国では、住民の移動手段確保のため、地域公共交通の整備が進んでいる。太子町・河南町・富田林市・河内長野市でも有償でも運行されている。



H28 実証運行の定路方式ワゴンカー

問 私どもは子ども医療費助成の拡充を一貫して求めてきた。まずは就学前までの実施で、府下でも早い時期に実施できたい。次に小学校卒業まで、中学校卒業までと順々に

子ども医療費助成を18歳までに拡充を

要望 地域公共交通協議会の再開で、村に見合った交通システムの検討を要望する。社協が実施していた公共施設と買い物施設を結ぶワゴンカーを有償で行い、おでかけ応援を行うべきだ。

要望 地域公共交通協議会の再開で、村に見合った交通システムの検討を要望する。社協が実施していた公共施設と買い物施設を結ぶワゴンカーを有償で行い、おでかけ応援を行うべきだ。

答 現在のタクシー・バス助成は、高齢者・障がい者・妊婦・免許返納者に限定している。村内公共施設や買い物施設への移動については、現行制度を利用していただきたい。今後の公共交通施策については、既存の公共交通の維持と共に地域公共交通協議会に諮りながら、誰もが利用できる地域公共交通を目指していきたい。

子ども医療費助成 18歳まで実施状況 (令和3年3月現在)

大阪府下 43 市町村中 23 市町で実施	
近隣の状況	
松原市	中学校卒業まで
羽曳野市	令和3年4月から
藤井寺市	令和3年4月から
大阪狭山市	高校卒業まで
富田林市	令和3年10月から実施予定
河内長野市	中学校卒業まで
太子町	高校卒業まで
河南町	22歳まで実施

答 子ども医療費助成は所得制限を行わず、義務教育終了まで実施している。子育て応援として、子ども園などの保育料は所得制限なく無償とし、副食費補助なども行っている。医療費助成の拡充については府下市町の状況や村の財政状況を考慮し検討しなければなら

答 子ども医療費助成は所得制限を行わず、義務教育終了まで実施している。子育て応援として、子ども園などの保育料は所得制限なく無償とし、副食費補助なども行っている。医療費助成の拡充については府下市町の状況や村の財政状況を考慮し検討しなければなら

要望 地域公共交通協議会の再開で、村に見合った交通システムの検討を要望する。社協が実施していた公共施設と買い物施設を結ぶワゴンカーを有償で行い、おでかけ応援を行うべきだ。

答 現在のタクシー・バス助成は、高齢者・障がい者・妊婦・免許返納者に限定している。村内公共施設や買い物施設への移動については、現行制度を利用していただきたい。今後の公共交通施策については、既存の公共交通の維持と共に地域公共交通協議会に諮りながら、誰もが利用できる地域公共交通を目指していきたい。

要望 自然環境と少人数の学校で教育環境も良い中、さらに子育て支援を充実させ、現役世代の転入・人口増につなげるために、早期に実現するよう強く要望する。

子ども医療費助成を18歳までに拡充を

答 子ども医療費助成は所得制限を行わず、義務教育終了まで実施している。子育て応援として、子ども園などの保育料は所得制限なく無償とし、副食費補助なども行っている。医療費助成の拡充については府下市町の状況や村の財政状況を考慮し検討しなければなら

要望 地域公共交通協議会の再開で、村に見合った交通システムの検討を要望する。社協が実施していた公共施設と買い物施設を結ぶワゴンカーを有償で行い、おでかけ応援を行うべきだ。

答 現在のタクシー・バス助成は、高齢者・障がい者・妊婦・免許返納者に限定している。村内公共施設や買い物施設への移動については、現行制度を利用していただきたい。今後の公共交通施策については、既存の公共交通の維持と共に地域公共交通協議会に諮りながら、誰もが利用できる地域公共交通を目指していきたい。



問

小吹台地区の活性化について

答

第5次総合計画で検討を進めていく

山形研介 議員



いきいきサロンやまゆり

問 小吹台地区の活性化について、小吹台は、造成されてから、早や、47年を迎え、数多くの問題が山積する中で次のように、一般質問において、①地区のリニューアルに

問 前村長への提案に「小吹台地区の老朽化施設の集約化といきいきサロンやまゆりの建て替え」での答弁では、新庁舎と認定ことも園が一定の用途がついた段階で複合的な施設の建設の可能

問 地区の活性化は、数多い問題がある中で、若い世代の永住と移住を含め、小学校の存続は、不可欠である。「いきいきサロンやまゆり」の建て替えは、若者から高齢者が使用できる「(仮称)福祉センター」として、また、防災、災害時での拠点の一つとして建設するよう要望する。

要望 スピード感を持って課題への検討と住民負担にならないよう要望する。

向けて
② 住居表示の導入を
③ 地区の防犯灯のLED化の推進を(昨年に完了)
④ 「いきいきサロンやまゆり」の耐震化及び建て替え、他の老朽化施設との集約化等、今後のあり方を数年来、提案し問いかけしてきた。村長の見解は。
答 地域活性化とは、人口が増え、働ける場所があり、人が集い、安心して暮らすことができる状態。小吹台地区は、村外からの交流人口を通じての活性化が図りにくい住宅地という特徴を考慮し、第5次総合計画で検討を進めていく。

性について検討することであったが、村長の考えは。
答 老朽化施設の集約化などは、有効な手段であると考え。財政状況も勘案し検討する。
問 地区の活性化としてもう一点は、千早小吹台小学校の存続は。
答 方針では、一つの小学校の児童数が2年連続60人を切る年の3年前を目途に学校、保護者・地域住民等で協議を進める。
要望 地区の活性化は、数多い問題がある中で、若い世代の永住と移住を含め、小学校の存続は、不可欠である。「いきいきサロンやまゆり」の建て替えは、若者から高齢者が使用できる「(仮称)福祉センター」として、また、防災、災害時での拠点の一つとして建設するよう要望する。

金剛山ロープウェイ・香桶荘廃止による今後の課題について

問 開業以来56年を迎え赤字経営の中で試行錯誤しながら廃止となった。村長の心境と今後の課題について伺う。
答 赤字体質の改善のため、さまざまな取り組みを行ってきたが、一般会計からの補填なしには運営できず、苦渋の選択であるが、ある意味運命的なものを感じる。今後、民間企業から譲渡の申し入れがあれば、府や土地所有者と協議を行うと共

ぎかいの窓

3月14日(日)に行われた、NPO法人「ちはや子どもサポート」「マザーズハウス」さんの内覧会に伺いました。

小吹台地区で児童発達支援事業・放課後等デイサービスを行っている事業者様で、今回新たに事業所を開設され、内覧会を実施されました。

以前より活動されているのは分かっていたのですが、事業内容等については詳しくは知らなかったため、よい機会と思い参加させていただきました。

就学前から高校生までの障害のある児童を対象に支援・サービスを行う事業と伺い、非常に重要で大変な仕事だと思いました。

理事長に設立の経緯を伺うと、「最初は少人数で、こんな事できたらいいな、あんな事も…」から始まったそうで、「ご苦労はあったでしょうが素晴らしい」と感じました。

専門的知識や地域のご理解が無いとできない事業ですが、熱意や情熱も無いとできない仕事です。

小吹台では、今回4カ所目の事業所で空き家をリフォームして開設され、中はアットホームな雰囲気である、過ごしやすそうな空間でした。私の都合で今回は2カ所の訪問でしたが、伺えてよかったです。

無限の可能性を秘めた子供たちの為に、私たちもできる限りの応援をしていきたいと考えた内覧会でした。



マザーズハウス

議会を傍聴

しませんか？



次回定例会の予定

6月7日(月)から6月23日(水)です。

6月7日 本会議 午前10時

6月23日 本会議 (一般質問)
午前10時

このほか、各委員会なども開かれます。

上記日程はコロナウイルスの状況により変更になる場合があります。傍聴についてもお断りすることがあります。

(議会事務局 ☎0721-26-7168)

議会事務局は保健センター2階、議場は3階集団指導室兼議場です。

雑感

およそ一カ月半続いた緊急事態宣言も、2月末をもって大阪府下では解除となりました。村内でも小中学校において無事に卒業式が行われ、いきいきサロンも再開(一部使用不可)となりました。感染対策を行った上で、イベントも開催されるようになり、村はようやく平穏の様子を取り戻しつつあるように見受けられます。

さて、この雑感を書いておきます3月末、村ではワクチン接種の準備に全力を傾けているところ

ろです。これまでに経験したことのない大規模な予防接種。どんな不測の事態が起こるやもしれません。安全に滞りなく進めていくためにはしっかりとした準備が不可欠です。命を守っていくために日々遅くまでがんばっていたら、いよいよ職員のみなさんには本当に頭が下がる思いが致します。

かれこれ一年以上続くコロナ禍ですが、あたり前だった日々を取り戻せるその日まで、気を抜くことなく、みなさん今一度感染対策にがんばっていききたいと思います。

A. T.

広報編集委員会

委員長	田村 陽	副委員長	関口ほづみ
委員	井上浩一	委員	千福清英
議長	田中博治		